藍本曲りから相野

武庫川さくら回廊を歩く

第 178 回武庫川エコハイク
2022.4.2 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km^2、丹波篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は丹波篠山市にある。丹波篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。

藍本庄宿 江戸時代の丹波街の往還の要衝にあたり、藍新町の名が出たところで、夜に日をついで駅鈴の音が聞こえ、紅灯のもと、弦歌の絶えることなく栄えたといわれる。孝徳天皇 647 年が藤原鎌足に命じて藍の種子を本庄地区に蒔かれた。栽培地は相野、広野まで広がり、藍の本として藍本と呼ばれた。

丹波杜氏と旧街道 「灘の生一本」と江戸時代にもてはやされた灘五郷の酒造りには、丹波の酒造りの職人「丹波杜氏」の存在は欠かせない。秋の刈り取りが終わるころ丹波から稼ぎに出て、春には酒造りを終えて稼ぎと土産話を手にこの日出坂を越えていった。行き帰りには酒の神である酒滴神社に参り、藍新町の宿屋は賑わったという。日出坂は酒滴神社の幣（しで）坂がなまったものといわれ攝津と丹波の境である。

酒滴神社 貞観年間（859～877）疫病が流行したとき、村人の夢の中にスサノオノミコトと名乗る童子が現れ、山中に湧く霊水を教えた。その霊水を飲んだ病人がたちどころに治ったことから信仰を集めた。第 1 鳥居の石造鳥居は応永 2（1395）年造立で県下最古のものとされ、宝塚市の波豆八幡神社と同じ形式で波豆の石工が製作したものと考えられている（県指定文化財）。また神社には算法額が奉納され県下最古のものとされている（市指定文化財）。

酒大きな転石 酒滴神社から街道を少し下った所にある大きな転石は、虚空蔵山の裏側の大川瀬から飛来したといわれ、また住吉神社と酒滴神社が喧嘩して住吉神社が投げた石とのいわれもある。その後大川瀬との往来が絶えていると言われる。酒滴神社はヘビの神様、住吉神社はカエルの神様。

コリヤナギの堤防 大安橋から上流の武庫川右岸にはコリヤナギが植えられて近自然堤防が作られている。コリヤナギは豊岡名産の柳行李の材料と同じ。

曲 武庫川がここで 360 度曲る。この武庫川に囲まれた地区には中世の城郭跡があり、堀相模守という領主がいたといわれる。今は稲荷社と曲り公会堂がある。

波田橋 波田橋は国道 176 号線と並んで小さな橋がある。これは丹波街道の橋である。波田の集落を抜けて藍の宿へ進む。この辺りの武庫川の流れは最も緩い。

通称「芸術家村」 岩倉地区には芸術家が多くアトリエを持ち、通称「芸術家村」と呼ばれている。青野ダムサイト公園などの野外彫刻で知られる新宮晋先生、有馬富士公園の石彫刻の作者故東山嘉事先生、陶芸家の荒木高子先生などの名前がある。

お鶴としじみ貝(伝) お鶴という親思いの可愛い娘がいた。ある日体の弱い父親のために川へしじみ取りに出かけた。たくさんのしじみを取った帰り、渕から足を滑らせて死んでしまった。引き上げられたお鶴の胸にはしっかりとしじみの入ったカゴが抱きかかえられていた。あわれんだ村人たちはその渕を「お鶴渕」と名づけ、そのかたわらに 1 本の松を植え、「お鶴松」と呼んだ。

藍本浄化センター 藍本地区の浄化センター、国交省所管の農業集落排水事業。

幡尻の記念碑 昭和 63（1988）年の幡尻川改修とこの地区の圃場整備の記念碑。

駒宇佐八幡神社 貞観元（859）年み託宣によって創立されたと伝えられる。九鬼家の祈願所となった。本殿は明和 3（1766）年に建立され、舞殿、長床とともに市指定文化財。毎年 11 月 23 日に奉納される百石踊りはもともと雨乞いの踊りで県指定無形民俗文化財。

白馬天を行く（伝承） 昔、豊前国宇佐（大分県）の菱潟地に神童子が現れ「我こそは八幡大菩薩である どんなことでもできる神通力を持っている」と言って白馬に飛び乗り、八流の幡をなびかせ東を駆け回っていた。ここ摂津の有馬郡本庄の上空を飛んでいると、下から藍色の雲が昇ってきた。童子はここは絶好の地と舞い降りた。そして「我こそは宇佐八幡の大神なるぞ！」と大音声をあげた。村人は大変驚き、喜んだ。宇佐から駒で来られたというので「駒宇佐八幡神社」としてお祀りした。社殿の前に駒が岩になった岩倉がある。また武庫川の右岸にかって流鏑馬に使われたという「的石」がある。この付近には大音所、幡尻、幣之島などの字名が残る。

駒宇佐八幡神社自然環境保全地域 兵庫県の自然環境保全地域 10 ヘクタール、コジイ、ウラジロガシの群落がある。

大音所の河川改修の記念碑 この谷は大雨が降ると武庫川が氾濫を繰り返していた。昭和 55(1980)年工費 50 億円を投じて河川改修が行われ、河拡幅、直線化されて氾濫はなくなった。

須磨田の有機農業の里 アイガモ農法など有機農業を推進している地区がある。

さくらんぼ並木 生宝寺橋から日之詰橋に至る右岸堤防上にさくらんぼ並木がある。サトウニシキ、コウカニシキ(香夏錦)、ナポレオンなどがある。

安井酒造 日之詰橋の北側に安井酒造場がある。三田市に 2 軒ある酒造家の内の一軒。銘酒「武庫泉」の蔵元。

大橋 武庫川上流の県の水質測定箇所。

正明寺 本尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)。開基は天正 5(1577)年。別棟の観音堂には楠正成の身代わり十一面観音菩薩が祀られている。楠正成が戦いに敗れて自害したときに死後かたわらに傷だらけの十一面観音菩薩があったのを見て家臣がこの地に背負ってきて祀ったという。

井ノ草天満宮 覆い屋の中に右側に八幡宮、左側に天満宮が祀られている。天満神社は弘長 5(1264)年に京都北野神社から分霊を勧請して創建されたと伝えられる。

本庄浄化センター 本庄地区の浄化センター、農水省所管の農業集落排水事業。

四ツ辻 市の中央部から西部。 国道 176 号が南北に走り、ほぼ中央部を県道福住三田線が東西に走る要地。**四ツ辻大池**は水面積 2，92ha、灌漑面積 66ha、で市有数の灌漑用ため池。

相野川 西相野に源流を発する武庫川の支流、広野で武庫川に合流する。延長 4289m の河川

JR 相野駅 藍本駅、広野駅と共に明治 32(1899)年当時の阪鶴鉄道の三田駅から篠山口駅間延伸により開業。三田テクノパーク、丹波篠山市今田への玄関口。